

「NTT 東日本札幌病院に通院中または通院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ」(臨床研究に関する情報)

1. 研究名称 働き方改革の観点から unisurgeon uniportal VATS の功罪を考える

2. 研究機関：NTT 東日本札幌病院

研究責任医師 道免 寛充
研究分担者 山田 秀久
研究分担者 岩村 八千代
研究分担者 市之川 一臣
研究分担者 高野 博信
研究分担者 櫛引 敏寛
研究分担者 窪田 武哲
研究分担者 竹野 巨樹

3. 目的と意義

呼吸器外科手術は通常2人以上の医師により手術が行われますが、医師の急病や同時時間帯に行われる別手術の存在などの要因から術者一人のみでの手術(unisurgeon uniportal VATS、以下 uuVATS)を行わざるを得ない状況が時に生じ得ます。一方、多くの市中病院では潤沢とは言えない人員数で診療を行っており、医師に急病が発生した場合のみならず、2024年4月から開始される医師の働き方改革制度においては当直明けに休養をとる義務が生じるなど、手術助手を確保し難い状況に遭遇することが今後増えるものと予想されます。働き方改革制度における柔軟な対応の選択肢の一つと考えられる uuVATS の功罪を考察し、より安全な手術を患者様が受けることができるよう努めます。

4. 研究の方法

(1) 研究対象者

2019年4月から2023年9月に当院で uuVATS を行った患者様連続7名です。

(2) 研究方法

2019年4月から2023年9月に当院で uuVATS を行った患者様連続7名を対象に電子カルテで得られたデータを解析します。

(3) 使用する情報

この研究に使用するものは、カルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し

使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究対象者基本情報：年齢、性別、併存症、喫煙歴、肺疾患名、術式、手術成績（手術時間、出血量、胸腔ドレーン抜去日、退院日、術中術後合併症）等

(4) 研究期間

実施可能日～2024年4月20日まで

5. 研究の合理的根拠

治療結果を詳細に解析することで uuVATS の適応や手術法が明らかになることです。

6. インフォームド・コンセントを受ける手続き

2019年4月から2023年9月までの期間に NTT 東日本札幌病院外科において呼吸器外科手術を受けた患者さんの中で、この研究に診療情報を提供したくない方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

7. 経済的負担について

この研究を行うことで患者さんに費用などの負担は生じません。

8. 研究結果の公表

2024年4月18日～20日に開催される日本外科学会定期学術集会での発表および学会誌への掲載を予定します。

9. 個人情報の取り扱い

お名前、住所等、患者さんを直接特定できる情報は収集しておりません。

また、本調査結果として公表する内容は、集計結果に基づくものであり、医療機関名、医師名、患者さんを特定する個人情報（生年月日、イニシャル等）は含みません。上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

担当医師：NTT 東日本札幌病院 外科 道免 寛充

060-0061 北海道札幌市中央区南1条西15丁目

電話 011-623-7520